



令和2年11月4日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展「世界の海がフィールド！学術研究船『白鳳丸』30年の航跡」 開催のお知らせ

国立科学博物館（館長：林 良博）は、海洋研究開発機構及び東京大学大気海洋研究所と共催で、2020（令和2）年11月10日（火）から12月13日（日）までの期間、下記のとおり、企画展「世界の海がフィールド！学術研究船『白鳳丸』30年の航跡」を開催いたします。

海洋研究開発機構所属の学術研究船「白鳳丸」は2019年に竣工30周年を迎えました。白鳳丸は竣工以来、共同利用研究船として全国の研究者から応募された研究テーマに基づいて世界中の海で観測を行い、海洋物理学・生物学・地球科学・地球化学などの幅広い分野で数多くの研究成果を上げてきました。また、日本の海洋研究における学生の教育や若手研究者の育成の場としても重要な役割を果たしています。本展では、白鳳丸の特長、30年間の航跡、その科学的成果を紹介します。

記

【会場】国立科学博物館地球館1階オープンスペース（東京都台東区上野公園7-20）

【会期】2020（令和2）年11月10日（火）～12月13日（日）

【開館時間】午前9時～午後5時（金・土曜日は午後6時まで）

【休館日】毎週月曜日（11月23日（月・祝）は開館し、翌24日（火）が休館）

※会期等に変更となる場合があります。

【入館料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

一般・大学生：630円（税込）、高校生以下および65歳以上無料

【入館方法】新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施しています。

※入館にあたっては、当館ホームページでの入館予約が必要となります。

※入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページの予約サイトをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/news/2020/reservation/index.html>

【主催】国立科学博物館、海洋研究開発機構、東京大学大気海洋研究所

【協力】高知大学

【展示概要】別添の本展チラシ参照

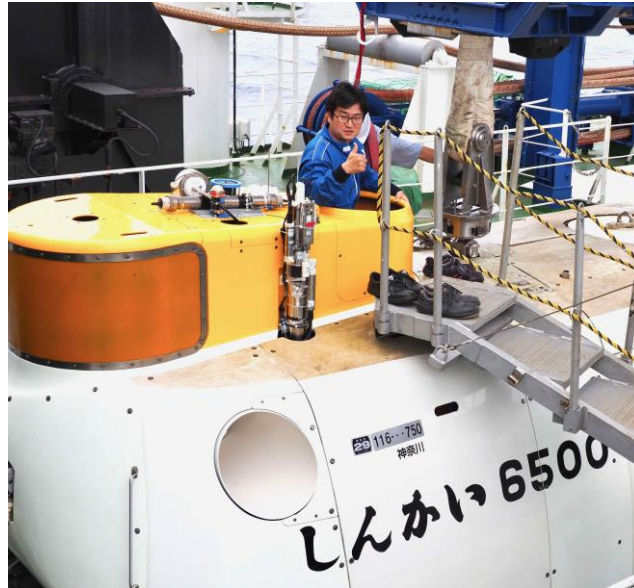
【お問合せ】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL：03-5814-9840、9883、9887、FAX：03-5814-9898

E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

展示監修者



国立科学博物館 地学研究部 鉱物科学研究グループ 研究主幹
谷 健一郎 (たに けんいちろう)

専門は地質学。

特に岩石学と年代学が専門です。大陸地殻や火山を作るマグマがいつ、どのようにして出来るのかを研究しています。

企画展

30年 の 航跡

白鳳丸

学術研究船

世界の海がフィールド！



2020

11.10^火 > 12.13^日

国立科学博物館 (東京・上野公園) 地球館1階オープンスペース
National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

【開館時間】 午前9時～午後5時 (金曜・土曜日は午後6時まで)

【休館日】 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は火曜日)

【入館料】 一般・大学生630円(税込) (高校生以下および65歳以上無料)
※常設展示入館料のみでご利用いただけます。

主催: 国立科学博物館、海洋研究開発機構、東京大学大気海洋研究所

協力: 高知大学

お問い合わせ: TEL.03-5777-8600 (ハローダイヤル) FAX.03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>

※会期等は変更となることがあります。

※入館は予約制となります。詳細はホームページをご覧ください。

ニホンウナギの
レプトセファルス幼生
©東京大学大気海洋研究所



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science



JAMSTEC 国立研究開発法人
海洋研究開発機構
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology



東京大学 大気海洋研究所
Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo



海洋研究開発機構(JAMSTEC)所属の学術研究船「白鳳丸」は、2019年に竣工30周年を迎えました。これまで白鳳丸は、世界中の海で観測を行い、海洋物理学、生物学、地球科学、地球化学などの幅広い分野で

多くの研究成果をあげてきました。本展では、白鳳丸30年の航跡を振り返るとともに、その代表的な研究成果や、日本の海洋科学研究に果たしている役割について紹介します。

1章 白鳳丸30年の航跡

白鳳丸は、この30年間で2回の世界一周航海を行うなど、近海・遠洋を問わず世界の海を舞台に多目的研究航海を実施してきました。約239万kmという総航海距離は、地球60周分に相当します。本章では白鳳丸建造の経緯とその航跡を振り返ります。

2章 学術研究船・白鳳丸

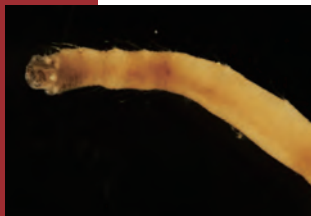
白鳳丸は、研究者が観測・分析機器を持ち込めるよう、広い研究室や大型クレーン、ウインチなどが備えられた大型研究船です。また、若手研究者や学生に観測技術の指導が行われる後進育成の場でもあります。ここでは普段見られない船内の様子や観測機器類を紹介します。

白鳳丸 30年の航跡

学術研究船



世界初公開!



クマノアシツキ科のゴカイ



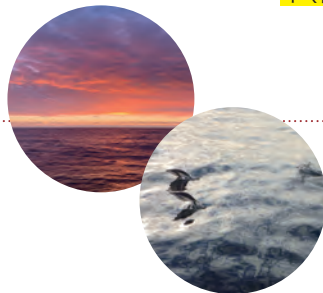
オグラグンバイダコ

3章 白鳳丸の科学的成果

白鳳丸における観測は、海洋科学各分野において、多くの重要な発見をもたらしました。2019年度の南半球世界一周航海では、近年、環境問題として注目されているマイクロプラスチックの連続観測や、日本船としては初めて、南極半島沖の海底地質調査などを行いました。また、これまでの調査航海の成果として、新種記載された生物標本(世界初公開含む!)などを紹介します。

4章 これからの白鳳丸

白鳳丸は、2021年度に約1年をかけて大幅な改修工事を行うこととなりました。本章では日本の海洋科学研究の現状と、白鳳丸が一端を担っていくその未来について解説します。



○JR/「上野駅」公園口から徒歩5分
○東京メトロ銀座線・日比谷線/「上野駅」から徒歩10分
○京成電鉄/「京成上野駅」正面口から徒歩10分
※当館には駐車場および駐輪場はありません。

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
Tel 03-5777-8600(ハローダイヤル)
Fax 03-5814-9898
<https://www.kahaku.go.jp/>

 国立科学博物館
National Museum of Nature and Science



広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真・施設の貸出からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



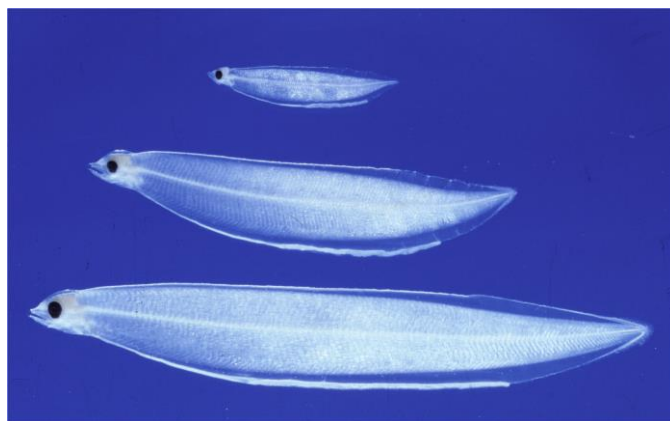
②白鳳丸

©東京大学大気海洋研究所

①企画展「世界の海がフィールド！
学術研究船『白鳳丸』30年の航跡」ポスター



③白鳳丸船上での作業風景



④ニホンウナギのレプトセファルス幼生

©東京大学大気海洋研究所

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください（記事内容をチェックするものではありません）。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898

E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20